

## ◆ 1月号の予定 ◆

### 特集 「日本のサービス貿易の実態と課題」

日本のサービス貿易は、旅行・運輸・知的財産使用料などが中心で、近年はIT・金融など無形サービスの輸出が拡大している。一方で、デジタル化対応の遅れや人材不足が課題となっている。このような中で日本のサービス貿易の現状と今後の課題について、データを使用した分析結果に基づき考察する。

#### 論考・論文

- ・ 広域経済連携と日本のサービス貿易—二国間統計に基づくCPTPP・RCEP発効効果の検証
- ・ 国際収支統計におけるサービス貿易
- ・ 拡大するサービス貿易と日本のデジタル赤字
- ・ 旅行収支とインバウンド

#### 特別寄稿

- ・ 2つのセンサス（仮題）

#### 統計ウォッチング

- ・ アベノミクス2.0実現を目指す高市政権

#### 連載

- ・ 高校における統計・データサイエンス教育の最前線（24）
  - － AI・DS探究コンペティションを通じた中高生の統計・データサイエンス能力の向上－
- ・ 滋賀大学宇字におけるデータサイエンスの産官学連携（10）
  - ダイキン工業株式会社の取り組み－伴走支援におけるデータ活用事例紹介－
- ・ 労働力調査の80年（10）－労働力調査の始まり－

#### 統計利活用コーナー

- ・ 統計データ分析コンペティション2025受賞論文 高校生の部 総務大臣賞

#### 英国王立統計学会機関誌Significanceから

- ・ Jordi Prats 著 “Fit for duty” 抄訳と解説

#### 書評

- ・ 中野 慎也 著 『データ同化』

#### ◎「特集」のテーマ（2025年6月号～2026年5月号）

- 2025年6月号 — わが国のコーポレート・ガバナンス
- 7月号 — 令和7年国勢調査の意義と役割
- 8月号 — 行政情報のマイクロデータ研究
- 9月号 — 税務情報のマイクロデータ研究
- 10月号 — 公的統計のマイクロデータ研究
- 11月号 — 加速する少子化
- 12月号 — 日本発の統計的方法
- 2026年1月号 — 日本のサービス貿易の実態と課題
- 2月号 — 医療、介護産業の生産性
- 3月号 — 高齢社会における金融資産－実態と課題
- 4月号 — 令和8年経済センサス－活動調査の意義と役割
- 5月号 — 統計調査のイノベーション

（注）「特集」のテーマは、社会経済の動向により見直す場合もあります。

#### ◎連載

- ・ 国際統計制度とは何か  
…2021年1月号から隔月  
2025年3月号まで連載
- ・ 高校における統計・データサイエンス教育の最前線  
…2021年7月号～毎月12月号まで  
2023年1月号～毎月7月号まで  
2024年3月号～  
2025年2月号まで連載
- ・ 2025 SNAの最前線  
…2023年4月号から隔月  
2024年2月号まで連載
- ・ データサイエンスの産官学連携  
…2025年4月号から毎月
- ・ 労働力調査の80年  
…2025年4月号から毎月